

2月10日から続いた熊本宇城のMAX80万/Hを超えた大きく真っ赤なデータは 昨日午後

後に収束して、もとの100以下の小さいデータに戻っています。また周辺のデータでは大分

他方、和歌山一A がかなり収束してきた昨日の段階でMAX10万を超える幅のある1本立ちが出て、京都伏見、大阪高槻、広島中区402、山口周南、さらに東伊豆にも同期データが見られます。また懸案の浜北017の大きなデータは特にリバウンドなど無く、収束状況

以上のように、広範囲の異常データが関係するため予想が難しいですが、熊本宇城が真っ赤なデータで直下型の可能性があることから、和歌山一A と浜北017 とは別の動きと

1、震源：九州 熊本、大分（直下型の可能性）

規模：M6超

時期：2月15日から3日程度

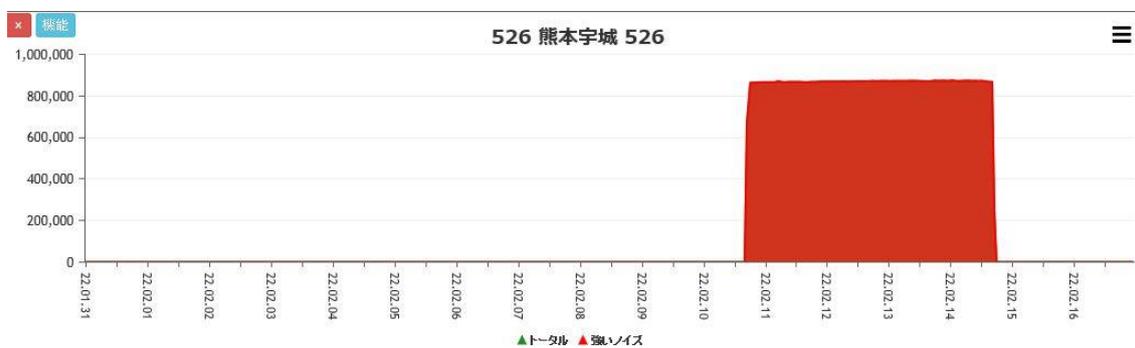
2、震源：中部、東海地区または関西地区

規模：M6超

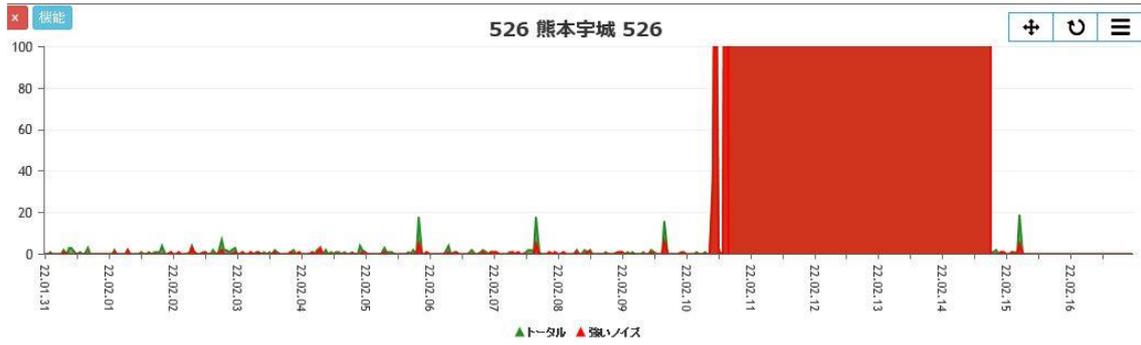
時期：2月15日から5日程度

以下のデータを参考にしてください。

熊本宇城 15日間データ



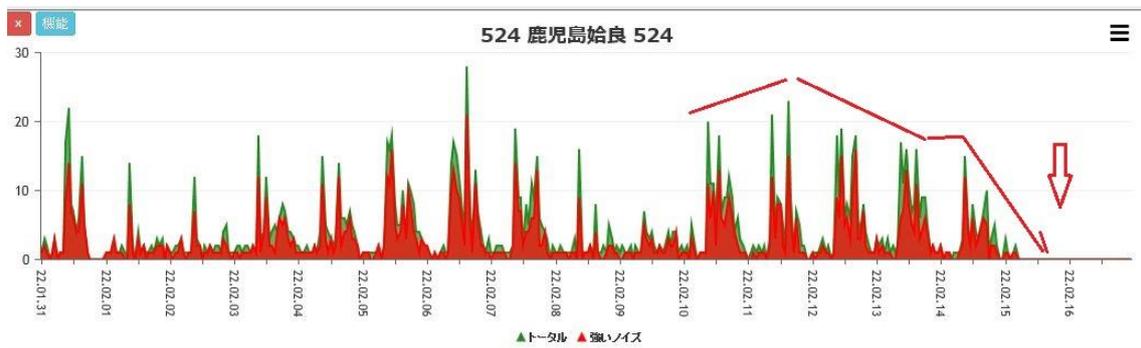
熊本宇城 15日間データ (拡大)



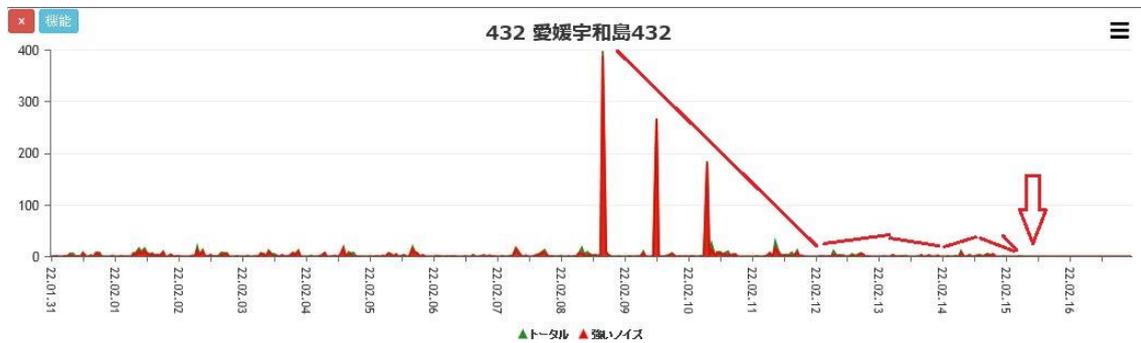
大分 別府 15日間データ



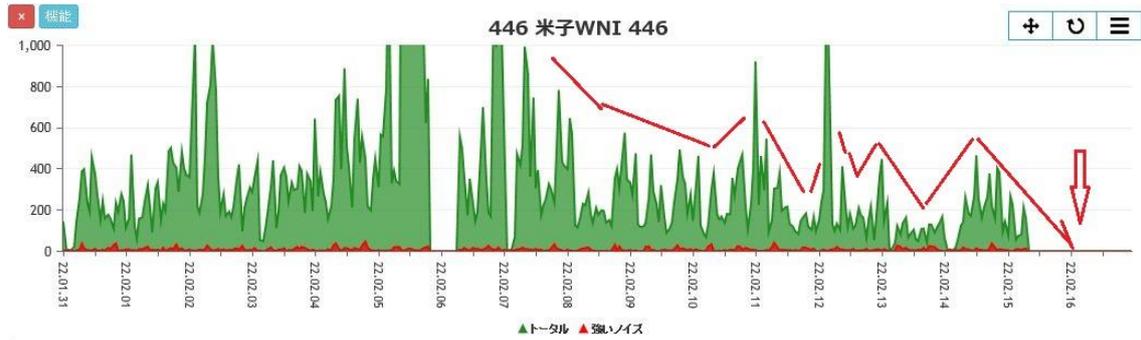
鹿児島 始良 15日間データ



愛媛 宇和島 15日間データ



米子 15日間データ

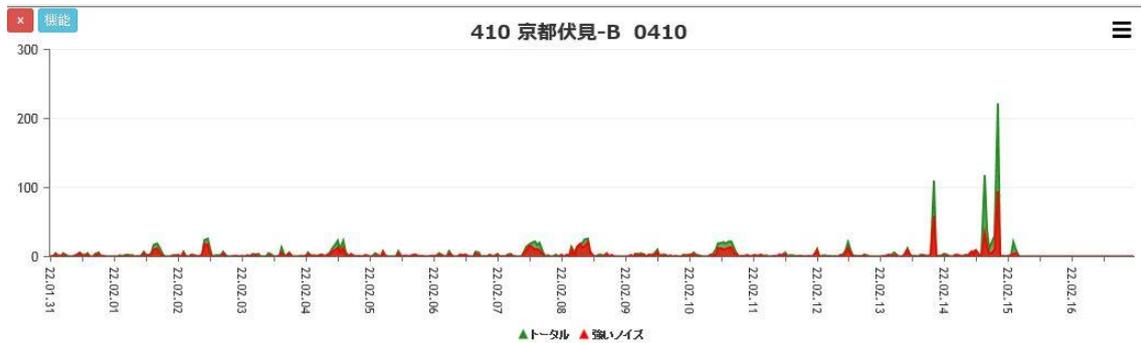


<和歌山-Aの2月14日の1本立ちと同期したデータ>

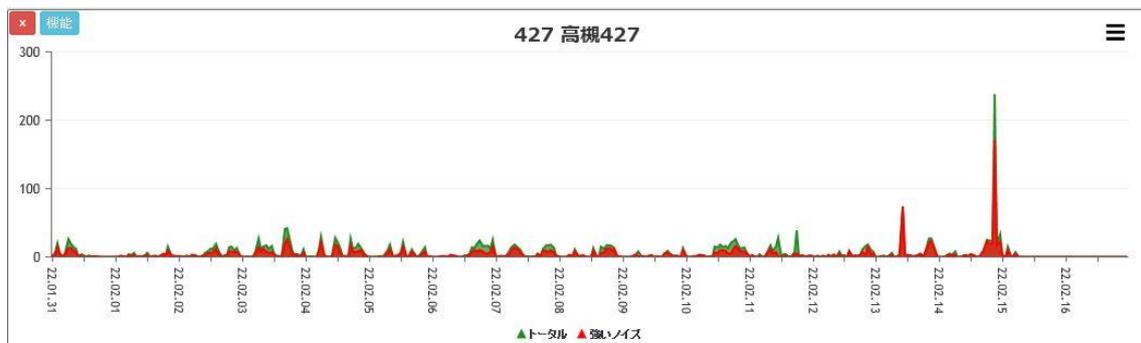
和歌山-A 15日間データ



京都伏見 15日間データ



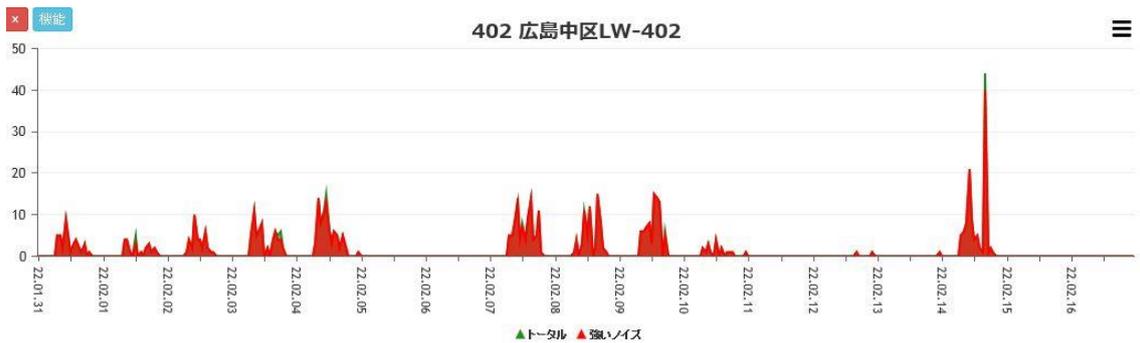
大阪 高槻 15日間データ



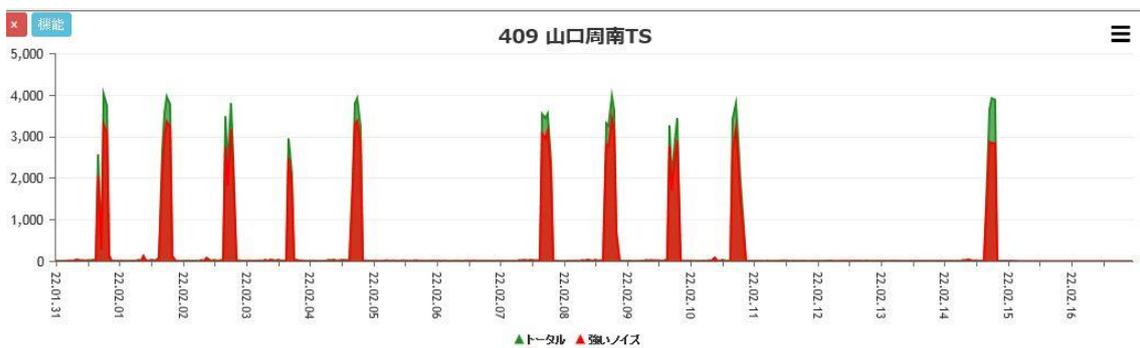
東伊豆 15日間データ



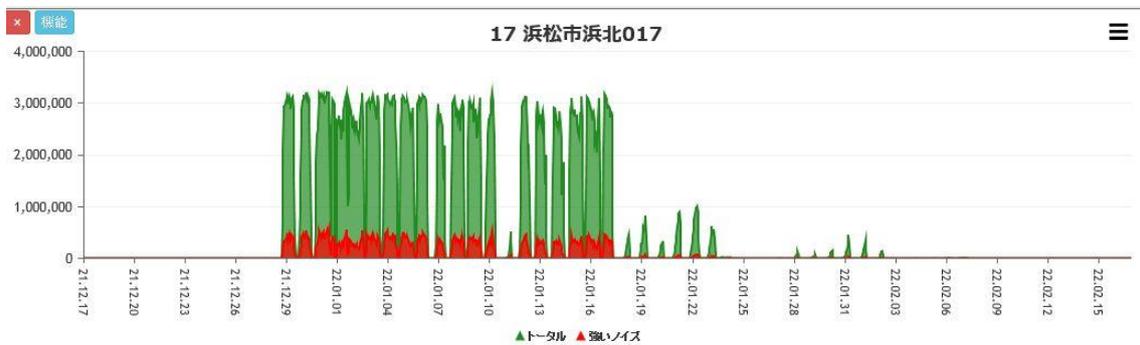
広島中区 402 15日間データ



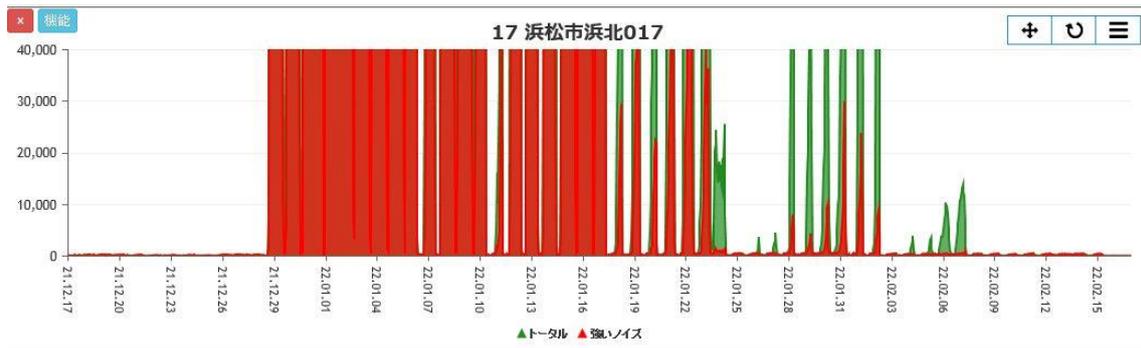
山口周南 15日間データ



浜北 017 のデータ >60日間データ



浜北 017 60日間データ (拡大)



位置関係

